

県 外 派 遣 報 告 書

栃木県バスケットボール協会 審判部

大会名	平成28年度 第30回関東クラブバスケットボール選手権大会	開催地	千葉県千葉市
報告者名	梶 崇司・若林謙作・松本祐大	派遣期間	平成29年2月3日(金)～5日(日)
参加者 (所属都県) 敬称略	本部:渡邊整(関東審判長)、久保裕紀(関東副審判長) 指名審判員:増淵泰久(栃木)、小坂井郁子(神奈川) 茨城県:秋葉智、大野太裕、坂美佑紀 群馬県:菊地真吾、阿久沢尚夫、穂川苑子 埼玉県:眞榮喜工、竹澤友美、駒村匡昭 東京都:東條輝正、廣瀬渉、井澤元花 神奈川県:廣瀬俊昭、橋本美保子、渡邊純 山梨県:河野仁、菅野秀樹、中嶋清貴 栃木県:梶崇司、若林謙作、松本祐大 地元・千葉県審判員		
【審判会議内容】			
<p>～コート上でやるべきこと～ 講師:小坂井郁子氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずはルールに沿った公平で公正な正しい判定が大切 ⇒ゲームが円滑に進む、プレイヤー・ベンチがストレスを持つことなく正しいプレイで戦うことができる。 ⇒ダイナミックなパフォーマンスを魅せる事ができる。 ・正しい判定をするためには…情報収集(キャッチ)⇒判断(ジャッジ)⇒判定(アクション) ⇒収集した情報を選択し、適応することで判断につながる。 ⇒運営面でも情報収集を行う…パートナーやTOとの協力(経験は? 状態は? 器具・環境は? など) ⇒当たり前の確認…全ての事を当たり前と思わない。漏れを作らない。 ⇒「忘れること」を常に意識…習慣になるまで常に意識する ・正しい判断・判定をするために集中(冷静に)する。 ⇒常に次のプレイ・選手の心理・自分の課題等を考える。集中することでより多くの情報収集につながる。 ・審判をする上で意識すること ⇒公平・公正なルールに沿った判定(最後は自分が決断しなくてはならない、判定から逃げない) ⇒ミスは誰にでもある(繰り返さない、コート上で修正する) ⇒勝敗を決める笛を吹いてはいけない(時には勝敗に関与する笛を吹かなければならないこともある) ⇒知識・技術を身につける(自信を持って判定できる材料、いざという時に自分を助けてくれる) <p>～コート上でやるべき事～ その2 講師:増淵泰久氏</p> <p>『確認』を多く行うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレイの確認…プレイを見る位置・角度 アウトオブバウンズ等々 ・試合中に起こる事(起こると困る事) 起きている事が分からない・知らなかった・見ていなかった・感じていなかった・聞こえなかった等 ・プレイの確認だけではなく、「状況」の確認も必要(無用なトラブル回避の為) (例)アローの確認→各ピリオドの開始、終了時(特にハーフタイム)確認できているか? 24秒計→今日のオペレーターはどうか?(リセット・スタートのタイミング) 次のファウルを取り上げるとどうなるか?(チーム・個人ファウルの個数は何回か) ・些細な事でも常に確認する⇒習慣化するまで何度も取組む「どのカテゴリーでも」 ・レフリーを行う上で必要な事 ⇒一線を引く態度、コミュニケーション(相手レフリー・TO・選手・ベンチ)、RSBQはどうか 試合のキーマンは誰か、等々。様々な面から『状況確認』を行う。 ・パートナー間で予測を「共有」 ⇒プレゲームカンファレンス・タイムアウト中・ピリオド間・試合中にアイコンタクトを取る <p>【1泊審判員レクチャー内容】「2POメカニクスについて」講師:渡邊 整氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4原則をバランス良く行う(Boxing-in、Alwaysmoving、SpaceWatching、Penetration)…動くことが目的ではない。 ⇒自分のエリア・プライマリーを意識⇒次の動きを予測し先に動く⇒気づかないとプレーに置いて行かれる ・『クロスステップ』を行い、最後の局面をよく確認する。 ・すべてにおいてプレーとの距離を意識(近すぎると分からない)。 ・ゲーム内に数多くのことを考え、感じる(この先はどうなっていくのか?) 			

【感想・県内審判員へ伝達したいこと】

(梶 崇司)

最近、自身の課題としている「プレイの確認と判断」「ゲームのスムーズな進行」を徹底することを目標にコートに立ちました。数多くのゲーム(割当)を担当させて頂いているおかげで、本大会においても、ゲームに合った判定やスムーズな進行等、できることが多くなってきていることを実感しています。ただし、ゲーム中に早く気づいていれば判定できたこと、対応できたことがまだまだあります。審判会議でのレクチャーにもあった「コート上でやるべきこと」を徹底し、少しでも多くのことに気づき、その気づきを判定に生かしていけるように更に努力していきたいと思えます。

地元・千葉県の方々には3日間大変お世話になりました。ありがとうございました。また、渡邊整審判長をはじめ関東協会の皆様、派遣頂きました渡邊諭審判長をはじめ県内の皆様方に感謝申し上げます。

(若林謙作)

クラブの大会ということで、ファウルの判定だけでなく、それ以外の管理や気遣いが求められた大会であった。経験不足から迷いやミスも多くあった。その中で2日目の割当を頂けたのは、今後の活動にとっても大きな財産となった。満足のいく内容とは程遠く、自分の力のなさを実感した。これを良い経験で終わらせることなく、今後必ず生かせるように励んでいきたい。

最後に今回3日間に渡り、大変お世話になりました千葉県の方々にお礼を申し上げますとともに、派遣して頂いた渡邊諭審判長をはじめ県内の審判員に感謝申し上げます。

(松本祐大)

この度、関東クラブ大会に参加させて頂き、たくさんの事を勉強させて頂きました。

机上講習では、コート上で行う事を中心にお話しいただき、様々な確認の必要性、大切さを再確認致しました。普段から出来ている事もあれば、確認・意識が足らなかった事もありました。より良い判定・ゲーム運営を行う為に、確認や予測をもっとたくさん行い、判定力の向上とよりゲームにマッチした判定が出来るよう取り組みます。

3日目の朝には渡邊審判長より2PO・3POメカニクスの再確認の講義をお話しいただきました。

パワーポイントを使い各動きの再確認、気を付けることとお話しいただき、常にメカニクスの再確認の必要性があると感じました。また、その中で『どんどん失敗をし、失敗したことに気づくことが大切』とのお話があり、たくさんの事にチャレンジをし、自分自身失敗に気づける様に検証、勉強をしていく必要があると感じました。

実技では、予測、動き、確認を意識しながら今自分が出来る事を精一杯行いました。その中でご指導いただいた事を今後に生かせるように引き続き取り組んでいきます。

今回お世話になりました三好審判長をはじめ千葉県の皆様、ご指導頂きました講師の皆様、派遣をしてくださった渡邊審判長をはじめ県内の皆様、誠にありがとうございました。経験を活かせるよう引き続き取り組んで参ります。

県外派遣

審判ミーティング記録表

割当日:平成 29年 2月 4日

審判員名	梶 崇司	相手審判	(副) 森山 龍司氏	所属 千葉県
カード	男子1回戦	韮崎スピリッツ(山梨)	対	横浜ギガスピリッツ(神奈川)
◇ ミーティングの内容				
・必要な時に必要な笛が鳴っており、ゲームがスムーズに進められていた。				
・エリア5だが相手が目の前にいるケースで、無理に笛を入れなくても良いケースがあった。				
⇒ゲームの序盤。相手レフリーへ与える影響等も考慮した方が良かったのではないか。				
《審判主任》 中島 弘幸 氏(千葉県)				

割当日:平成 29年 2月 5日

審判員名	梶 崇司	相手審判	(主) 増淵 泰久氏 (副1) 菊地 真吾氏	所属 栃木県 群馬県
カード	男子準決勝	RBC東京(東京)	対	千葉ジェッツネクスト(千葉)
◇ ミーティングの内容				
・ゲーム自体は大きな問題なく終わっているが、特にセンターから判定すべきプレイがあったのではないか。				
・EOP(2ピリの終わり、3Pショット)のケースについて、判断すべきであった。				
・主審が対応したワーニング等、ゲームをコントロールする上で見習うべき対応があった。				
《審判主任》 廣瀬 涉 氏(東京都)				

県外派遣 審判ミーティング記録表

割当日:平成 29年 2月 4日

審判員名	若林 謙作	相手審判	(副) 渡邊 拓人氏	所属 千葉県
カード	男子1回戦	CBアルポラーダ(茨城)	対	NAVY(埼玉)
◇ ミーティングの内容				
・激しい展開であったが、最後まで2人で踏ん張った。				
・大きな現象での取りこぼしはないが、取り上げても良い触れ合いもあった(手の使い方など)。				
・TOレポートやシグナルなどはマニュアル通りで、他の模範となるものであった。				
《審判主任》大野 太裕 氏(茨城県)				

割当日:平成 29年 2月 5日

審判員名	若林 謙作	相手審判	(主) 中嶽 希美子氏 (副1) 大川 尚氏	所属 千葉県 千葉県
カード	女子準決勝	東海クラブ(茨城)	対	AFBB(東京)
◇ ミーティングの内容				
・自分のプライマリーエリアで起こっているプレイについて、判定してほしいケースがいくつかあった。				
・大きな現象について、予測やクロスステップが足りず判定できていなかった。				
・アウトオブバウンズの判定について、周りから見ている人と違う判定があった。				
・クルーとの協力について、自分から積極的に働きかけていく必要があった。				
《審判主任》橋本 美保子 氏(神奈川県)				

割当日:平成 29年 2月 4日

審判員名	松本 祐大	相手審判	(主) 眞榮喜 工氏	所属 埼玉県
カード	男子1回戦	谷田部クラブ(茨城)	対	鎌ヶ谷クラブ(千葉)
◇ ミーティングの内容				
・リード時にプレイを見ようとするがあまり、視野が狭くなり視野外になったプレーを判定できない時がある。 →常に位置取り、視野の取り方(アウトサイドイン)を意識する。				
・リード時に右にタイミングが遅い時、行かなくても良い時に行ってしまうときがある。 →状況判断を早くし、右に行く場合は早く、行かない場合は任せる。				
・ファウルを吹いたが、位置が悪い時があった。 →最終的に面が変わるときにもう一步開く、下がる等をすればより良い位置で見られる。				
・トレイル時最後のスペースを求めて積極的にクロスステップを行っていた事は良かった。				
・2人で協力して1試合判定していたので良かった。				
《審判主任》三好 啓太 氏(千葉県)				